

1 本県における「統計データ利活用推進事業」活用状況

1-(1) 実施年度と事業種別

- 事業実施年度
令和元年度～令和4年度

- 事業種別

統計データ利活用推進事業実施要領

7 都道府県知事が実施する事業

(1) 地方公共団体におけるEBPM推進事業

(2) データ融合実証事業

(3) 統計データ利活用に関する人材育成事業



県及び市町の職員を対象に、「EBPM実践講座」を開講

1-(2) 実施体制

- 人事課とデータ活用推進課が共同で実施

人事課

- ・各研修課目の企画・運営

データ活用推進課

- ・委託事業の県窓口としての事務
- ・データサイエンス講座 I・II の講師
- ・データサイエンス特別講座の運営協力

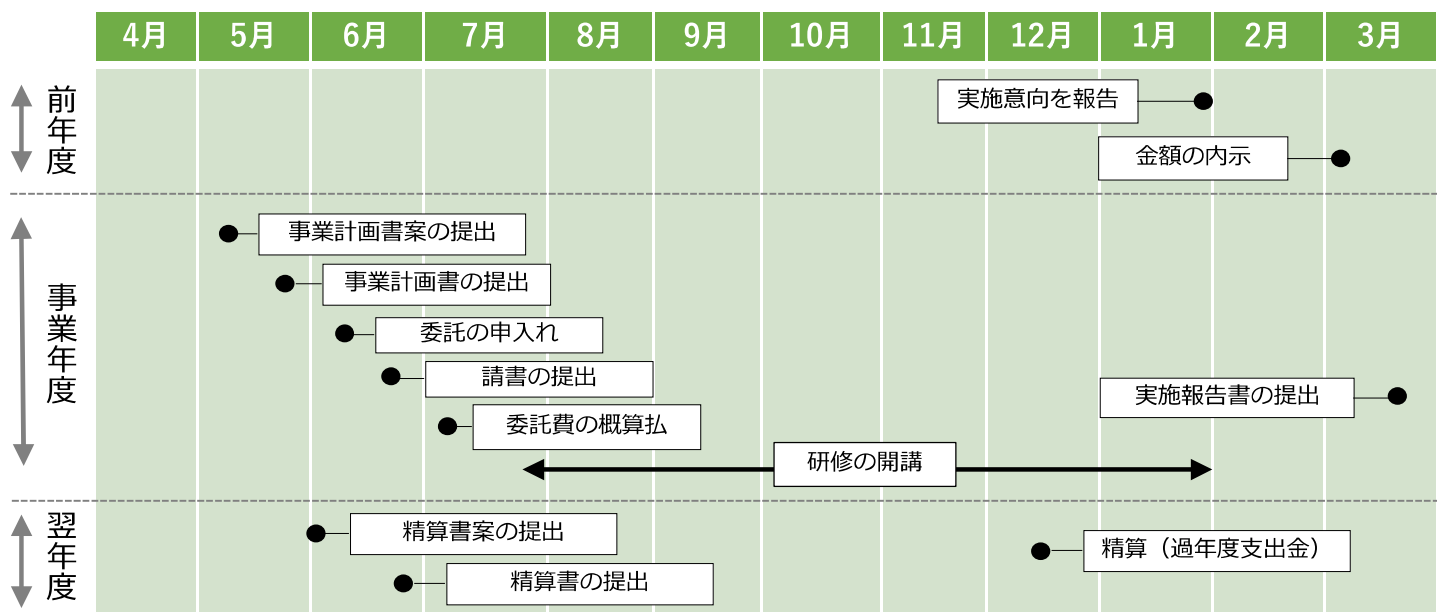
1-(3) 事業規模の推移

- 各年度の当初予定額と実績額

年度	当初予定額	実績額	備考
令和元年度	1,330,000円	1,330,000円	
令和2年度	1,246,000円	1,246,000円	・一部の研修をオンライン講座に変更 ・研修所のWi-Fi環境整備を実施
令和3年度	1,394,000円	371,026円	・一部の研修をオンライン講座に変更 ・一部の研修を縮小又は中止
令和4年度	749,000円	—	・研修体系の見直しを実施 (研修課目の統廃合、動画を使ったオンライン研修の導入)

1-(4) 事務処理の年間スケジュール

○ 委託に係る事務のスケジュール



2 事業内容 (EBPM実践講座) の紹介

2-(1) 「EBPM実践講座」の研修体系

※令和元～3年度



2-(2) 研修課目別受講者数（R1～R3年度）

※ 県職員及び市町職員の計

	R1	R2	R3	各研修計
EBPM入門講座	114	59	97	270
データサイエンス講座Ⅰ	84	99	76	259
データサイエンス講座Ⅱ	47	41	72	160
データサイエンス講座Ⅲ	25	54	46	125
EBPM実践講座Ⅰ	35	16	-	51
EBPM実践講座Ⅱ	20	20	-	40
データサイエンス特別講座	174	36	28	238
各年度計	499	325	319	1,143

3年間で、のべ1,143人が受講

2-(3) 各研修課目の概要「EBPM入門講座」

時間数	6時間30分（1日）	
主な内容	EBPMの思考法／EBPMが変える公共政策の未来／エビデンスの作り方／演習（モデル事業における効果検証設計）／モデル事業の設計・実施手順／演習（評価設問と比較対象群の設定）	
講師	株式会社メトリクスワークコンサルタンツ代表取締役 青柳恵太郎 氏	
開催方法	R1:対面型、R2以降:オンライン	
費用（R3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報償費（講師謝金）：158千円 ・ 報償費（要約筆記謝金）：約31千円 ・ 旅費-費用弁済（要約筆記者旅費）：約1千円 ・ 需用費（テキスト印刷製本）：約18千円 	計 約207千円

2-(3) 研修課目の概要「データサイエンス講座Ⅰ・Ⅱ」

時間数	各3時間40分（半日）	
主な内容	<p style="text-align: center;">データサイエンス講座Ⅰ</p> <p>統計学とデータの見方の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均、分散、標準偏差、パーセンタイル ・ 横断データと時系列データの見方（構成比、相対比、季節調整、実質化、指数） ・ 相関 ・ 線形回帰分析 	<p style="text-align: center;">データサイエンス講座Ⅱ</p> <p>統計データ等活用サイトの利用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県統計情報サイト（統計センターしずおか） ・ 総務省統計情報サイト（e-Stat、jSTATMAP、統計ダッシュボード） ・ ビッグデータ（RESAS） ・ その他の公的統計データ等の入手方法
講師	県職員	
開催方法	対面型	
費用（R3）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費（テキスト印刷製本）：ⅠとⅡ合わせて約14千円 	
備考	R1は、講師を務める職員が外部研修を受講（別紙）	

(別紙)

(R1に実施) 外部研修の受講について

- 目 的 データサイエンス講座で講師を務める職員の講義技術向上
- 受講人数 1名
- 研修名 一般社団法人日本経営協会
「地方自治体のためのデータ分析の基本と活用・資料作成の進め方」
- 費 用 ・負担金(受講費用):約32千円
・普通旅費:約26千円 計 約58千円
- 備 考 R2、R3はコロナにより受講見合わせ

2-(3) 研修課目の概要「データサイエンス講座Ⅲ」

時間数	19時間30分(3日間)
主な内容	財務諸表の見方、使い方【初級編・中級編】
講師	学校法人名古屋大原学園大原簿記情報医療専門学校 静岡校 科長 野崎正文 氏
開催方法	対面型
費用(R2)	・役務費(講師派遣料):約323千円 ・需用費(テキスト購入):約67千円 ・需用費(配布資料印刷製本):約8千円 計 約399千円
備考	R3はコロナにより3日間のうち1日目のみ実施

2-(3) 研修課目の概要「EBPM実践講座Ⅰ」

時間数	13時間（2日間）
主な内容 (R2)	政策評価における統計データの役割／政策評価の系譜と統計／評価とエビデンス／評価指標の作り方、使い方（評価指標の作り方-ロジックと妥当性）／評価指標の比べ方-目標値と実績の比較）／エビデンス・ベーストな評価（因果関係を探る／より確かなエビデンスを求めて）／演習／統計でウソをつく方法
講師（R2）	鳥取大学地域学部教授 小野達也 氏
開催方法	対面型
費用 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報償費（講師謝金）：約137千円 ・ 旅費-費用弁済（講師交通費）：約64千円 ・ 旅費-普通旅費（講師打合せ時の職員旅費）：約35千円（※委託事業の対象外） ・ 需用費（テキスト印刷製本）：約4千円 <p style="text-align: right;">委託費計 約204千円</p>
備考	R3はコロナのため中止

2-(3) 研修課目の概要「EBPM実践講座Ⅱ」

時間数	13時間（2日間）
主な内容	社会調査とは／社会調査の種類／社会調査の企画と設計／質問票（アンケート調査票）の作成／データの処理と解釈／調査報告書の作成
講師	静岡県立大学国際関係学部教授 渡邊聡 氏
開催方法	対面型
費用 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> 報償費（講師謝金）：約137千円 旅費-費用弁済（講師交通費）：約0.2千円 旅費-普通旅費（講師打合せ）：約1千円 使用料・賃借料（講師打合せタクシー代）：約5千円 需用費（テキスト印刷製本）：約4千円 <p style="text-align: right;">計 約147千円</p>
備考	R3はコロナのため中止

2-(3) 研修課目の概要「データサイエンス特別講座」

時間数	2時間20分
講演テーマ及び主な内容 (R3)	<ul style="list-style-type: none"> ○広がる統計の世界 —統計の使い方— <ul style="list-style-type: none"> ・自治体におけるデータ活用優良事例の紹介 ・EBPM実践に役立つ分析手法（ランダム化比較試験、差の差、回帰不連続デザイン） ○2015～2020年における地域別人口動向 —新型コロナウイルス感染拡大に伴う人口移動傾向の変化を交えて— <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年国勢調査結果からうかがえる地域別人口動向 ・社人研「平成30年地域推計」の精度評価 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う人口移動傾向の変化
講師 (R3)	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省統計局統計利用推進研究官 長藤洋明 氏 ・国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部長 小池司朗 氏
開催方法	R1:対面型、R2:オンライン、R3:対面型（規模縮小）
費用 (R3)	<ul style="list-style-type: none"> ・役務費（講師鉄道チケット代）：22千円（※委託事業の対象外） ・使用量・賃借料（講師タクシー代）：約3千円（※委託事業の対象外） ・需用費（テキスト印刷製本）：約18千円 <p style="text-align: right;">委託費計 約18千円</p>

2-(4) 令和4年度の事業について

